ふくしま オーガニック通信

～ 令和8年度　第3号 ～



収穫前の水田（郡山市）

令和8年11月25日発行
農業総合センター有機農業推進室

【編集・発行】福島県農業総合センター有機農業推進室
福島県郡山市日和田町高倉字下中道 116 番地
TEL：024-958-1711　FAX：024-958-1730
Email：yuuki_otasuke_soudan@pref.fukushima.lg.jp

↑ホームページ

～有機農業推進等の取組紹介～

第 19 回農業総合センターまつりを開催しました！

【農業総合センター有機農業推進室】

令和8年9月4日～5日に、福島県農業総合センターにおいて「第 19 回農業総合センターまつり」を開催し、有機農業推進室では親子野菜収穫体験を実施しました。

2日間で10組32名の親子が参加し、ミニトマトやナス、オクラなどの野菜を収穫しました。参加者からは、「こっちの種類のトマトがおいしい！」、「オクラってこう実るんだ」、「農薬を使わないといろんな生き物がいるんだね」との声が聞かれ、有機農業に対する理解を深めていただきました。

また、「みんなでチャレンジ!ふくしまエコマルシェ 2026」も同時開催され、県内の有機生産者等が出店し、県産の環境にやさしい農産物や加工品などが販売されました。



ナスを収穫する参加者



ふくしまエコマルシェの様子

みんなでチャレンジ!環境保全型農業大会 2026 及び みんなでチャレンジ!ふくしまエコマルシェ 2026 を開催しました!

【環境保全農業課】

令和8年10月31日に、福島市において、環境保全型農業に対する消費者等の理解をいっそう深めるため、「みんなでチャレンジ!環境保全型農業大会 2026」及び「みんなでチャレンジ!ふくしまエコマルシェ2026」を開催しました。大会では吉田太郎氏による記念講演や、“みんなでチャレンジ!環境保全型農業コンテスト 2026”の表彰式を実施し、最優秀賞を受賞した「きらら菜どるちぇ」様をはじめとする受賞者の事例発表、トークセッションを行いました。本大会は開催5回目となり、県内生産者の多様な取組を発信しました。

同時開催したエコマルシェでは9ブースが出店し、来場者は、生産者から直接おすすめの品物や食べ方などを聞きながら、県産の環境にやさしい農産物や加工品などを買い求めていました。

【みんなでチャレンジ!環境保全型農業コンテスト 2026 受賞者】

最優秀賞:きらら菜どるちぇ(二本松市) 写真左から 3 番目、右隣は研修生

優秀賞:大江一男・久子(喜多方市) 写真左のお二人

優秀賞:株式会社ちーの(浪江町・飯舘村) 写真右から 2 番目



コンテスト受賞者の皆様と倉澤会長



記念講演いただいた吉田太郎氏

オーガニックふくしまマルシェ in FUTAKO TAMAGAWA を開催しました!

【農業総合センター有機農業推進室】

令和 8 年9月19~20日にかけて、東京都二子玉川において、福島県とオーガニックビレッジの二本松市、喜多方市、鮫川村、会津若松市が一体となり、ふくしまの有機農業の魅力を発信しました。

生産者による有機農産物・加工品等の販売、各オーガニックビレッジの特色を生かしたオリジナルメニューの提供、そして福島県ゆかりのタレント・アーティストによるトークショーやライブステージを通じて、来場者にふくしまを満喫していただきました。



出店ブースの様子



商品を選ぶ来場者

相馬市で稲刈り体験会が開催されました

【相双農林事務所双葉農業普及所】

令和8年10月17日に、「家族農林漁業プラットフォームふくしま浜通り」が主催する稲刈り体験会が相馬市で開催されました。本体験会は、6月に開催された田植え体験会に引き続き、消費者に収穫作業を体験してもらうことで、地元農産物に関心を高めてもらうことを目的として実施されました。当日は、29名（うち親子8組、生産者5名）が参加し、相馬市で水稲の有機栽培に取り組む「合同会社さとうさんち」のほ場において、稲を鎌で刈り取り、稲架（はさ）掛け作業を体験しました。県からは相双農林事務所の職員が参加し、稲の束ね方や干し方を説明しました。参加者は、稲刈り作業の大変さを実感しつつ、生産者から田植えから稲刈りに至るまでの有機栽培特有のきめ細やかな栽培管理の説明を受けました。また、「刈り取った稲束からどれくらいのお米が穫れるのか。」といった質問があがるなど、参加者は生産者との交流、意見交換を通じて、有機農業に対する理解を深めていました。



稲刈りの様子



稲刈り後の稲架の様子

～現地実証ほの紹介～

高冷地における水稲紙マルチ栽培の適応性の検証

【会津農林事務所　農業振興普及部】

一般に、紙マルチ栽培は遮光により地温の上昇が妨げられるため、イネの初期生育が停滞する傾向があるとされています。会津農林事務所では、気温の低い高冷地における紙マルチ栽培の適応性を確認するため、昭和村小野川地区（標高 700m）において、令和7年度から調査を行ってきました。

昨年度は高温傾向で経過したことから、慣行栽培と比べても生育の遅延はほぼ見られず、出穂期に用水が不足した影響で整粒歩合はやや低くなりましたが、収量は目標を上回り食味値も良好な結果となりました。

今年度は6～7月と10月に気温が高い時期があったものの、それ以外は極端な高温にはなりませんでした。また、高温対策として移植時期を昨年より遅らせたことから、出穂期が昨年より11日遅れるなど生育への影響が懸念されましたが、無事に成熟期を迎え、10月下旬に収穫することができました。 今後は、収量性を調査し、高冷地における適応性を確認します。



一面に紙マルチが敷かれた水田

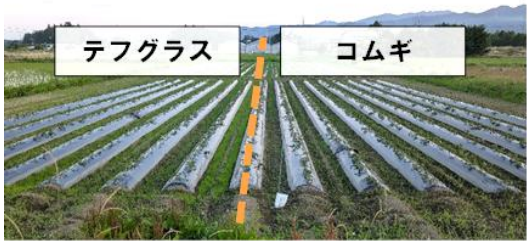
カンショ有機栽培に向けた緑肥活用の実証

【相双農林事務所双葉農業普及所】

相双地方ではカンショの作付面積が拡大しています。現在は主に加工用途で作付されていますが、販売単価の向上に向けては、有機栽培等による高付加価値化も選択肢の一つです。カンショは、畝間の雑草対策が収量確保に不可欠です。他県では、イネ科緑肥を活用したリビングマルチの試験が行われていますが、本県では緑肥の活用事例が少ないのが現状です。そこで、リビングマルチ向けのイネ科緑肥（テフグラス、コムギ）をカンショ定植後の畝間に播種しました。実証ほは転作田であり左写真のとおり表面滞水が見られ、コムギがほとんど出芽しませんでしたが、テフグラスは右写真のとおり出芽・生育が確保されており、耐湿性に優れていることが確認できています。



6/5 時点（播種後 12 日）のほ場の様子



6/12 時点（播種後 19 日））のほ場の様子

エゴマにおける有機栽培の実証

【農業総合センター有機農業推進室】

田村市を含むあぶくま地方で古くから栽培が盛んなエゴマは、有機栽培への移行が期待されており、有機農業推進室では、昨年度からエゴマ有機栽培の実証試験を行っています。

昨年度の実証の結果、通常の 128 穴セルトレイ苗を定植した時のネキリムシ被害は、殺虫剤不使用でも2～6%と低く、補植で十分に対応できました。また、有機の苗の方が慣行よりも生育が良く、元肥無しでも慣行同等の収量を確保できました。

年次間差を確認するため、今年度も引き続き実証試験を行った結果、ネキリムシの被害は0～0.6%と非常に少なく、また、畑全面を元肥無しにしたことで、昨年よりも雑草が繁茂するのが遅いことを確認できました。しかし、今回使用した育苗培土は古かったため、苗の肥料切れが発生したことに加え、雑草の発生が減少したことから追肥・中耕・培土の時期を遅らせたこと、生育期間中の降雨が多く日照不足であったこと等の影響で、生育は昨年よりも劣りました。10月14日に収穫したエゴマは、これから収量調査を実施する予定です。



定植 21 日後の様子（左：R7 元肥あり、右：R8 元肥無し）

～補助事業紹介～

有機農業関連の補助事業について

【環境保全農業課】

環境保全農業課では、以下の事業を設けています。活用要望がございましたら、お住まいの地域を所管する農林事務所農業振興課までご連絡ください。

今回ご案内している補助事業は、**令和8年度中に完了**するものが補助対象です。

1 環境にやさしい農業拡大推進事業

環境にやさしい農業拡大推進事業

(1) 有機JAS認証等拡大支援事業

有機JAS認証に係る経費等を支援します。

事業主体：農業者等（小分け認証は県内事業者）

補助率：新規認証 3/4 以内、継続認証 1/2 以内

小分け認証（新規）定額（上限 30 万円）＋施設整備 1/2 以内（上限 200 万円）

(2) 有機農産物等の供給体制の整備

有機農業での施設・機械の導入経費を支援します。

事業主体：農業者組織等（有機農業者等2戸以上）

補助率：1/2 以内(上限 1,000 万円)

2 有機無限大（∞）チャレンジ支援事業

有機無限大（∞）チャレンジ支援事業

(1) 有機農業のスタート支援

有機農業の取組1年目の農業者を支援します。

事業主体：農業者等（有機農業の取組開始後1年未満の農業者）

補助率：定額（ただし機械導入は 1/2 以内）。補助上限は合計 100 万円以内。

(2)「有機×〇〇」にチャレンジする担い手支援

有機農業を軸とした多彩な取組にチャレンジするために必要な経費を支援します。

事業主体：農業者等（有機農業を3年以上継続している農業者）

補助率：定額（ただし機械導入は 4/10 以内）。補助上限は合計 300 万円以内。

【問い合わせ先】

県北農林事務所：024-521-2604
県中農林事務所：024-935-1307
県南農林事務所：0248-23-1555
会津農林事務所：0242-29-5302
南会津農林事務所：0241-62-5253
相双農林事務所：0244-26-1147
いわき農林事務所：0246-24-6160
農業総合センター有機農業推進室：024-958-1711
農林水産部環境保全農業課：024-521-7453